

# 静岡県立東部特別支援学校令和8年度学校経営計画書

## 1 目指す学校像

(1) 教育目標 「元気に たくましく 豊かな人」

- 【体】 生き生きと活動する力
- 【知】 確かな学力、たくましく生きる力
- 【徳】 思いやり、感動する豊かな心

教育目標の達成に向けて、「東部特別支援学校らしさ」の①一人一人の個性や主体的な学びを大切にする姿勢、②人のあたたかさや前向きに取り組むチーム力、③整った学校環境・設備、④専門性の高い教育 を大切にして、楽しく安心して学べる学校づくりを進めます。

(2) 目標具現化の柱

- ア〈守る〉安全で安心な教育環境
  - (ア) 安全な学校環境の整備
  - (イ) 人権を尊重する教育
- イ〈育む〉確かな学力や豊かな心と生きる力
  - (ア) 学び・授業の充実、専門性をいかした肢体不自由教育の向上
- ウ〈つなぐ〉児童生徒の学びと社会参加を支える連携
  - (ア) 地域に根ざし、共生社会を構築する取組の推進・センター的機能の充実
- エ〈高める〉教職員が互いに支えあう職場
  - (ア) 教職員の資質向上
  - (イ) 業務改善の推進

## 2 本年度の取組（重点目標）

(1) 〈守る〉安全で安心な教育環境

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<b>安全な学校環境の整備</b>			
ア	児童生徒の命を守る危機管理能力の向上と安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時に備える実践的な訓練 緊急体制訓練等 年4回 注入時発災訓練 年2回</li> <li>・日常的な安全な環境づくり 安全点検の実施 月1回 ヒヤリハット・インシデントの速やかな情報共有と再発防止策の検討・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して学校生活を送ることができたと答える児童生徒 100%</li> <li>・安全に支援するために適切な判断と行動ができたと答える教職員 100%</li> </ul>	保健 安全課  医ケア課
	<b>人権を尊重する教育</b>			
イ	児童生徒と教職員が自他の個性を尊重し認め合う人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人権意識の向上 ほほえミーティング月1回 人権教育の伝達・共有年2回 外部講師による全体人権研修年1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に配慮した関わりの中で、自分や仲間の良さに気づいたと答える児童生徒、教職員 90%以上</li> </ul>	生徒 指導課

(2) 〈育む〉確かな学力や豊かな心と生きる力

No	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<b>学び・授業の充実、専門性をいかした肢体不自由教育の向上</b>			
ア	自分らしく生きていくための学びや経験を促す系統的・段階的な教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の認識の共有 全体学習会 年1回 各学部学習会 各学部年1回</li> <li>・キャリア発達に関する授業実践の紹介 各学部1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の将来の生活や夢、進路、今取り組むことについて考えることができた児童生徒 90%以上</li> </ul>	キャリア 支援課
	児童生徒一人一人が資質・能力を身に付けるための専門性をいかした授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一様式について教員間の共通理解が図れるよう、提示方法を工夫するとともに、活用に向けた研修を実施する。 (職員会議・夏季休業中・随時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統一様式(個別の指導計画・年間指導計画)の理解を深め児童生徒の実態に即した個別の指導計画を作成できる教員 80%以上</li> </ul>	教務課

No	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<b>学び・授業の充実、専門性をいかした肢体不自由教育の向上</b>			
ア	児童生徒一人一人が 資質・能力を身に付 けるための専門性を いかした授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が指導上必要とする専門性の向上に向けた職員同士の学び合いの設定（授業を通したテーマ検証を通年、研修報告などの共有機会を年3回以上）</li> <li>・児童生徒の実態や課題について学び合える場の設定（流れ図を使用した実態把握、掲示板を活用した教師の専門性を高めるための情報提供、専門家から自立活動の指導に関する助言を受けるなど）</li> <li>・授業に基づいた文化的・体育的活動の充実 行事等の運営、美術展等への参加、読書活動の推進、プール学習の安全な運営</li> <li>・ICTに関する情報発信月1回以上 DXだよりの発行 月1回以上 夏のICT研修会 学部ミニ学習会 年1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できた」「分かった」など、喜びのある学びがあったと答える児童生徒90%以上</li> </ul>	研修課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態に合った目標や活動内容、支援を設定することができたと答える教員80%以上</li> </ul>	自立活動課
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育や音楽、図工美術の授業に楽しく取り組むことができたと答える児童生徒90%以上</li> <li>・必要に応じICTを活用し学習や生活上の効果があつたと答える教員95%</li> </ul>	学習指導課  教育DX課

(3) 〈つなぐ〉 児童生徒の学びと社会参加を支える連携

No	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<b>地域に根ざし、共生社会を構築する取組の推進・センター的機能の充実</b>			
ア	児童生徒の学びと社会参加を支える連携・協働体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、保護者、関係機関の連携 ケース会議、校内支援委員会 伊豆医療福祉センター連絡会 月1回 幼児教室 年2回 学校見学会 年1回</li> <li>・交流及び共同学習の充実 地域の同世代との学校間交流 年2回以上 交流校との打ち合わせ 年2回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議や個別の教育支援計画の活用により関係機関との連携が深まり、児童生徒の学びと生活が支えられたと感じる保護者、教員80%以上</li> <li>・交流及び共同学習を通じて児童生徒が相互に学びあい理解が深まったと感じる教員90%</li> </ul>	連携課

(4) 〈高める〉 教職員が互いに支えあう職場

No	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
	<b>教職員の資質向上</b>			
ア	質の高い教育のための学び続ける教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部や学年を超えて互いの授業を見合い、学び合える機会の設定と校内のニーズに合わせた人材活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や行事の参観・体験、研修の共有、人材の活用など「有効であった」と答える教職員80%</li> </ul>	企画会（学部）
	<b>業務改善の推進</b>			
イ	持続可能で質の高い教育活動のための働きやすい職場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムマネジメントに取り組み、教員と事務職員等がそれぞれの専門性・役割を生かし協働して校務運営に参画し力を発揮できる職場環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムマネジメントを意識し、機能的なチーム体制に取り組み、「業務を効率的、効果的に進めた」と答える教職員80%以上</li> </ul>	企画会（学部分掌、事務）